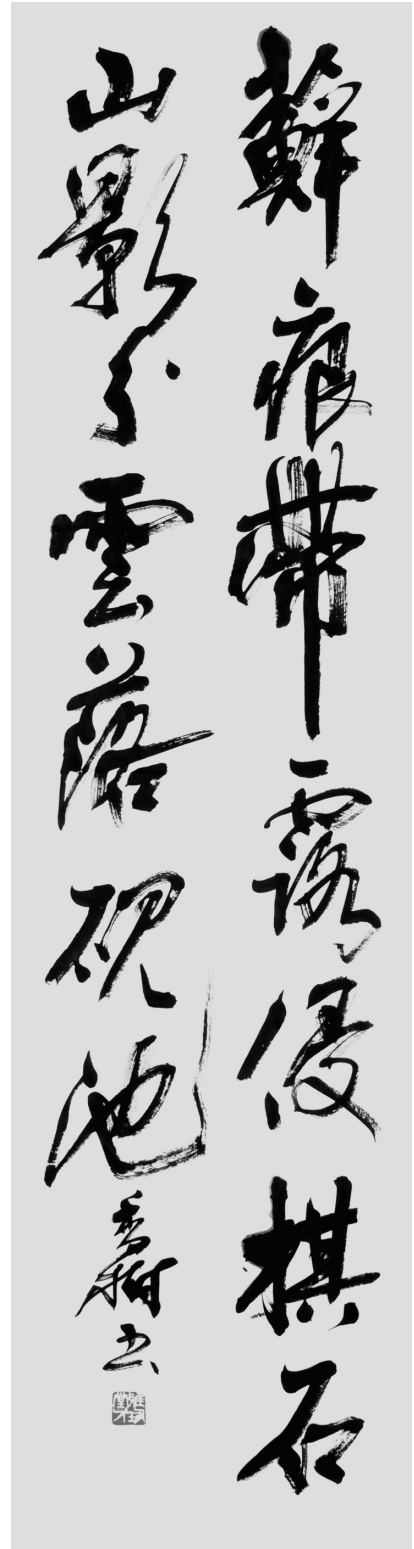


A

高橋 香樹 先生 書

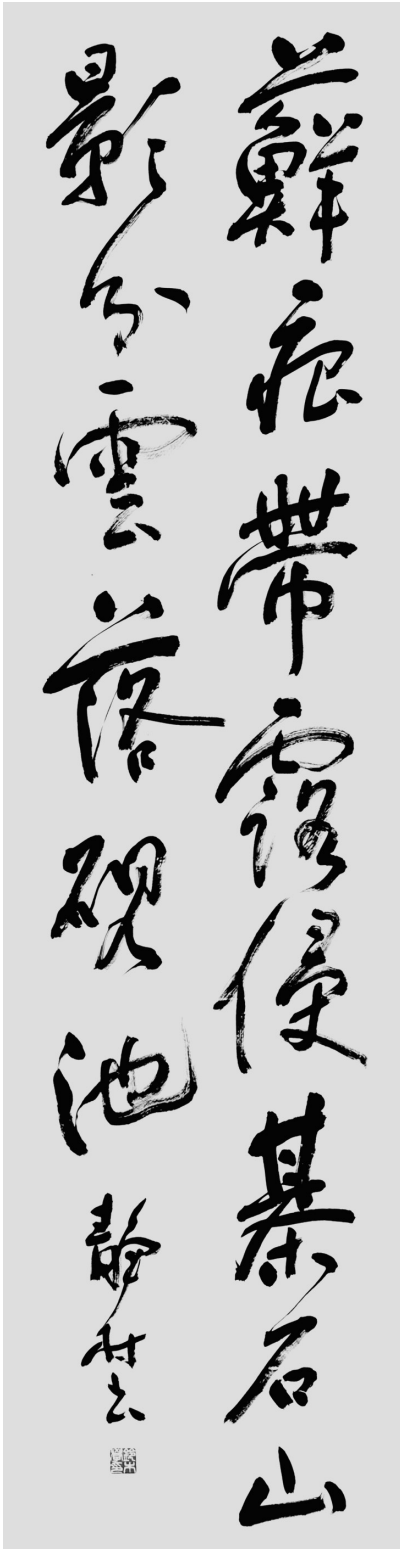
蘇痕帶露侵碣石 山影分雲落硯池 (馬臻)
蘇痕露を帯び碣石を侵し、山影雲を分ちて硯池に落つ。



B

鈴木 静村 書

蘇帶 懸針は真っ直ぐに引き抜く。痕 筆の面を表・裏の連続で。行書は基本的には直線傾向だが、草書露影硯 筆も活用し、スピード感表出。池 末筆は上に大きくハネあげた。連綿は影から分への一ヶ所だが他は意連で。は曲線を導入。墨継ぎは棋雲 渴



痕 行書がよかったか。何れにせよ形は小。帶 反対に草書体も効果的か。このような場合両者に取り組んでほしい。侵 又は 丈 明・清に多
い。碣石山 これは平板、各自打開を。影の ン から分の渴筆は活き活きと。落 露に影響され行書体。みなさんは何とか一工夫いかがでしょう。
訳：苔の跡は露を帯びて碣石をしめらし、山の影は雲の影を分ち送って硯の海にはいる。

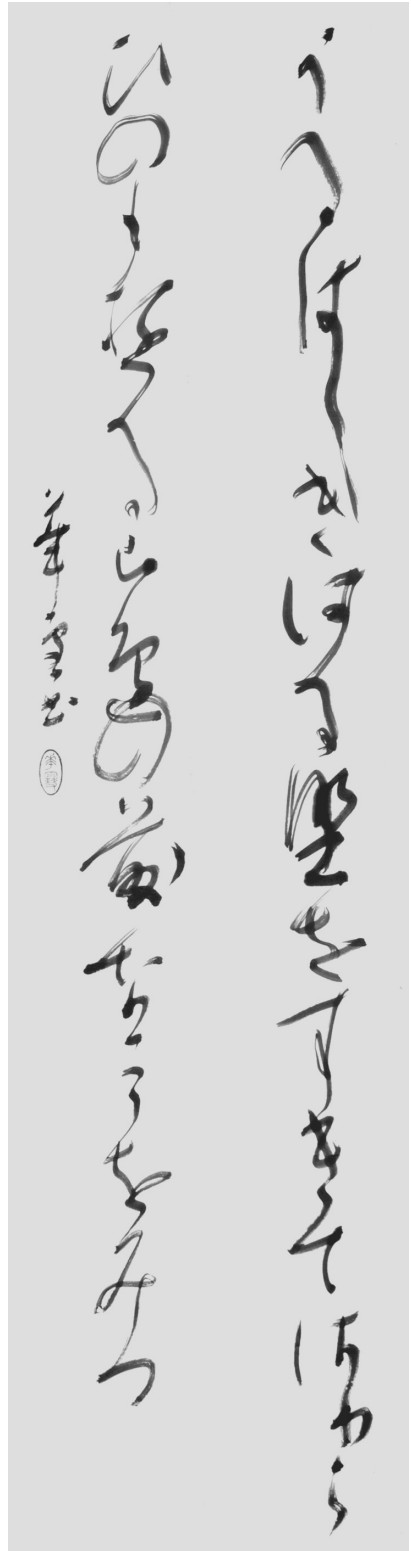
予告 (五月二十二日締切) 老去功名意轉疎 獨騎瘦馬問田廬 (晁沖之)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

A

平岡華雪先生書

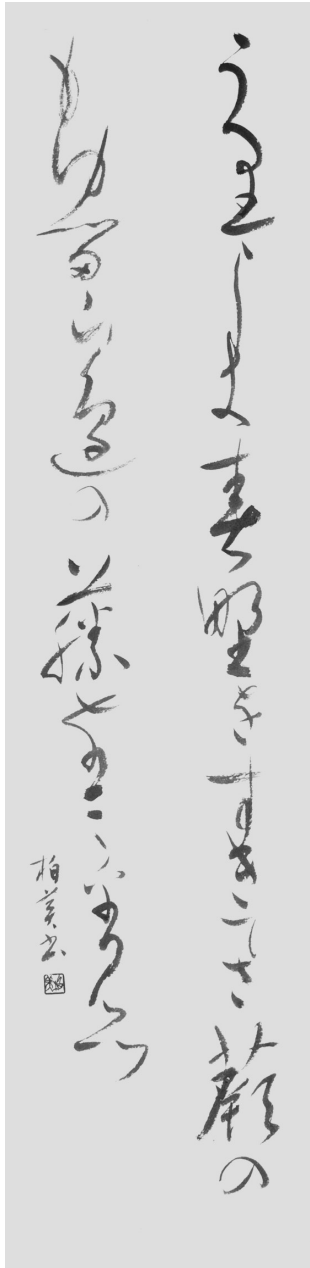
うるはしき春野を過ぎてさわらびの萌ゆる山邊の藤浪をみつ(尾山篤二郎)
うるはしきはる野をすきて佐わらひのも遊る山邊の藤な三をみつ



B

石島柏美先生書

うる盤し支春野をすきてさ蕨のもゆ留山邊の藤奈三平見川



学び方

作者の自然に対する温かい眼差し、春の息吹を感じつゝ二行書で表現しました。
右行「うる盤し支」の「う」の字は小さめに書き出します。縦の流れを意識しつゝ「春野をすきて」に続けます。「春」は少し強調して「野」は横に広げる気持ちで書きます。「さ蕨」の「さ」は軽く「すきて」に添わせませす。
左行は右行との行間を広く取ると共に「もゆ留山邊の」は渴筆で懐を広く取り取ります。終句の「藤奈三平見川」はリズムカルなタッチでやゝ右行に寄せつゝ筆を収めます。
落款は終句を右に寄せて出来た左下の空間に入れます。

尾山篤二郎は歌人・国文学者。金沢市生まれ。歌誌「自然」「芸林」を創刊主宰。同郷の室生犀尾、上京後は前田夕暮、若山牧水らと交友した。「さすらひ」「草籠」「平明調」「雪客」などの歌集や歌論、古典和歌研究を精力的に書き、特に「大伴家持の研究」歌集「とぶのすがごも」などの業績により昭和二六年に芸術院賞を受賞した。

予告 (五月二十二日締切)

を(お)とは山けさ越えくればほとんぎす梢はるかに今ぞなくなる(古今和歌集)

- ◆注意
 - ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

平岡華雪先生書

山深くして鳥聲無し(王維)

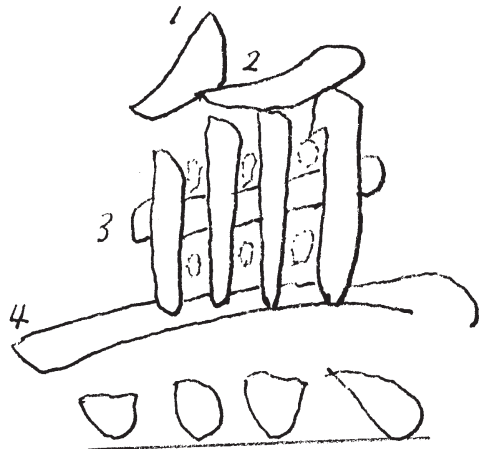
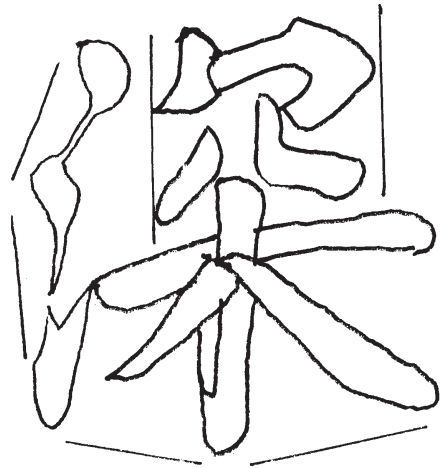
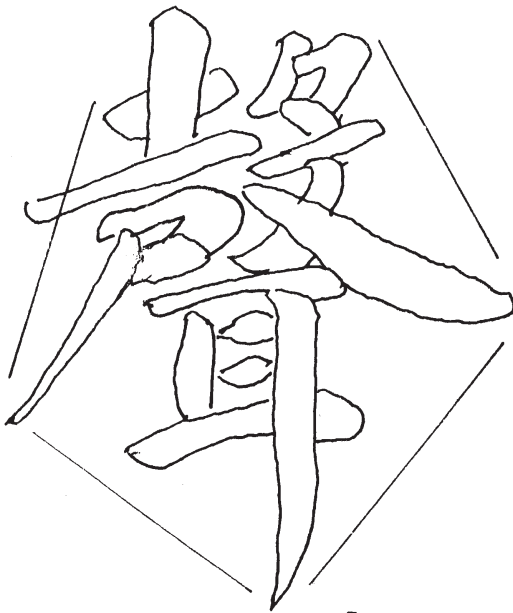
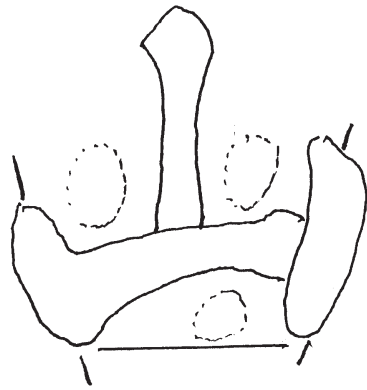
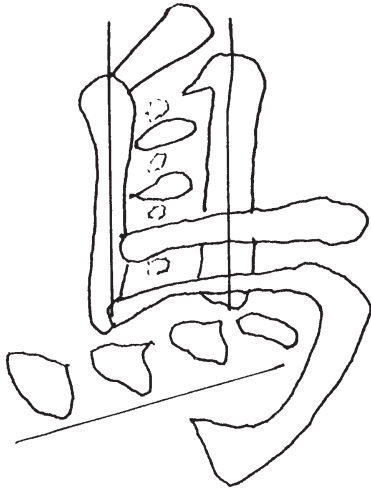


訳：鳥の声もしない深山の中。

▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ① 漢字部
- ② 支部名または都道府県名
- ③ 氏名または雅号
- ④ 新

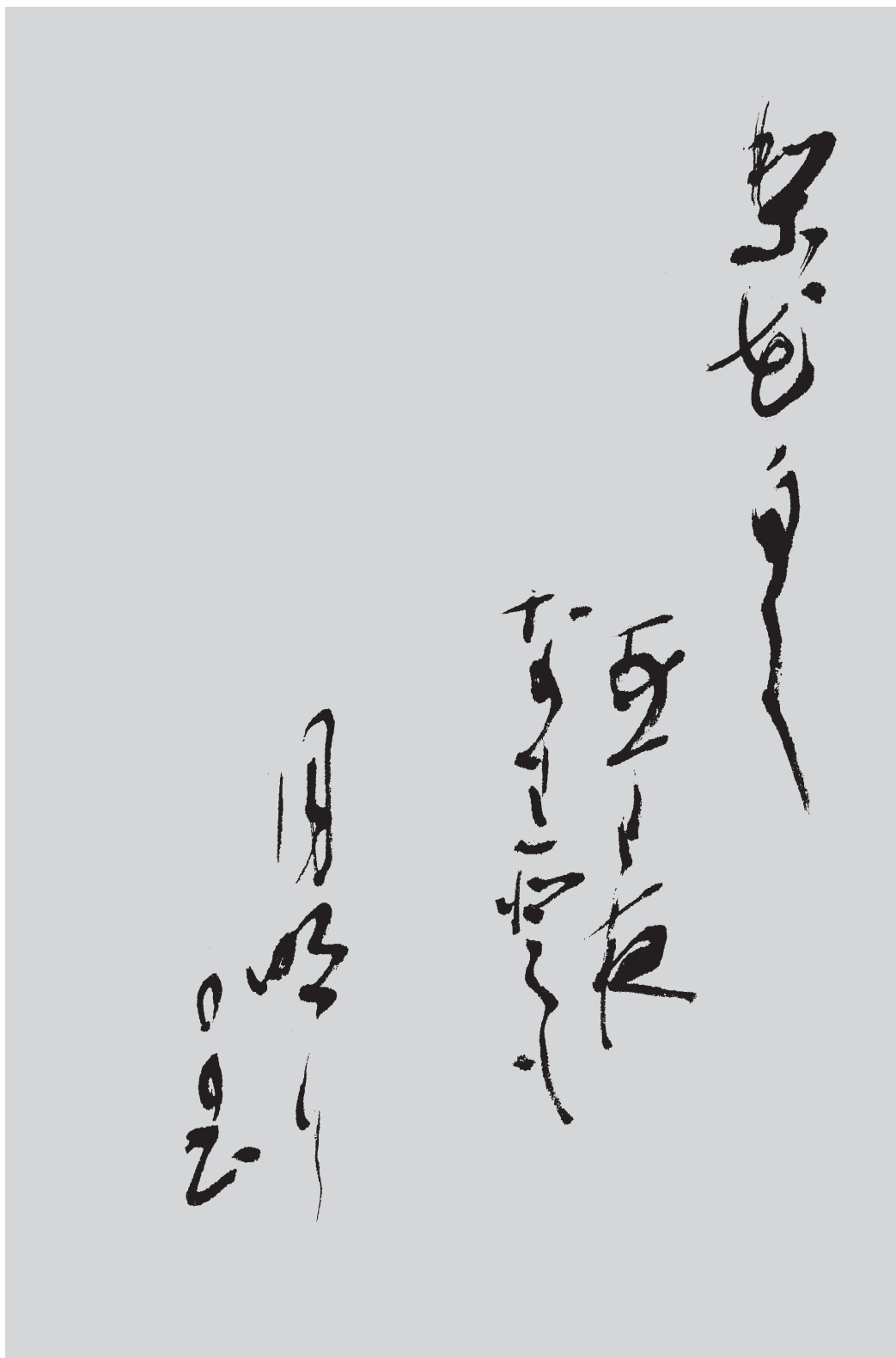
会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。



くわーくはふ典、
 深、字、旁、口、小、く、
 木、大、ま、い、形、古、典、に、
 多、い、。『聲、耳』、に、又、
 多、い、。ほ、こ、つ、り、
 此、多、い、。字、典、に、
 調、べ、を、

平岡華雪先生書

梨花白し雨夜なれども月明り(虚子)



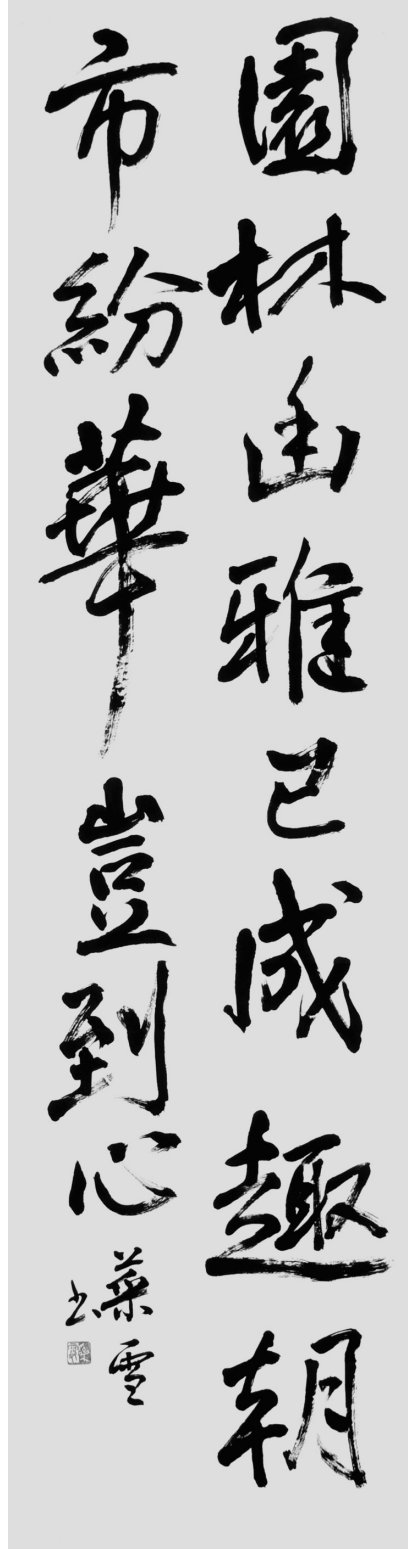
▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ① かな部
 - ② 支部名または都道府県名
 - ③ 氏名または雅号
 - ④ 新
- 会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

細かい筆意に味わい
 筆の構成上、上五・中七・下五の三群に「
 散らした趣向に注目。当たり前のなか
 特異。筆意面では、「梨花」梨花の「花」の長い筆脈
 が効果的。中七は「一」の「夕」の流氷の対「
 スタカート」的リズムの筆意で刻む感。下五「
 スッキリ感、特に「リ」の末画は長めにサテリと決めたい。

藤江菜雪先生書

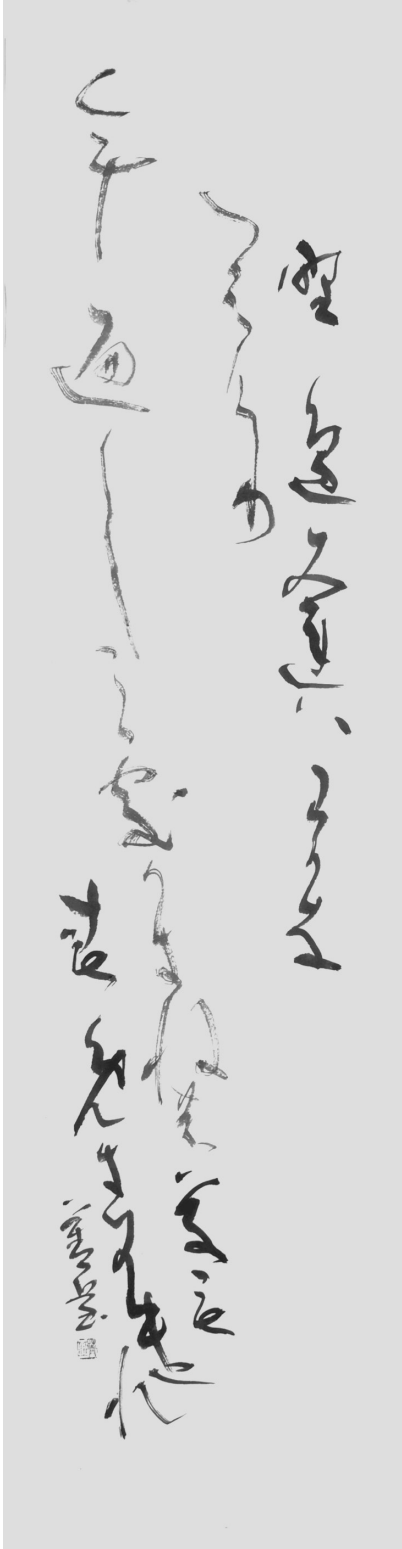
園林幽雅已成趣 朝市紛華豈到心（楊心遠）
園林幽雅已成趣 朝市紛華豈到心



訳：庭園林泉は幽雅ですでおもむきをなすから、市街のさわがしさも心の邪魔にはならぬ。

北島菁丘先生書

野辺見ればわかかなつみけりむべしこそかきねの草もはるめきにけれ（拾遺和歌集 紀貫之）
野邊み連八王可奈つ三介利牟遍しこ處可支ね農草毛春免支爾遣れ



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

条 幅 臨 書 部 課 題

北 沢 博 舟 先 生 担 当 争 坐 位 文 稿 唐 顔 真 卿

※条幅臨書部は出品料無料です。



其次有立功。是之謂不朽。

其の次は功を立つるに有り。是れ之を不朽と謂う。

形式—半切タテ使用 落款「〇〇臨」と書き入れる。

★全体の構成としては、「字」から「字」への繋がり
りの移動をよく観察して運筆されたらよいと思
います。

其 向かい合う二本の縦画の表情（向勢）。
中の二つの横画は右側にくっつかない。
下の二点の踏んばりの構え。

次 偏の組み合わせ、旁への第一画への間のと
り方、押し出すような終画。

有 強烈な起筆で左へ撥ね出す。
「月」は下部を広くして向かい合います。

立 はじめの点は分厚くスッと入る。
縦画二本、横画二本の向かい合わせに注目。

功 偏のえぐるような筆運び、旁への広い空間、
脈のつながりを。

是

一画目の縦画と中央の横画との間を離して
余白を。下部すっきりと。

之

点を叩きつけるよう、右下へと迫力を。

謂

偏の自然な動き、「月」はリズムカルな細
線の動きを。

不

骨組みのしっかりとした細線の美しさの表
出と「朽」への繋がり、そして抜く筆への
動きの妙を。

朽

★今回は「形臨」に焦点を当ててみました。そして
そこから見てくるものを次回から徐々に追求し
てゆきたいと思えます。

「争坐位文稿」について

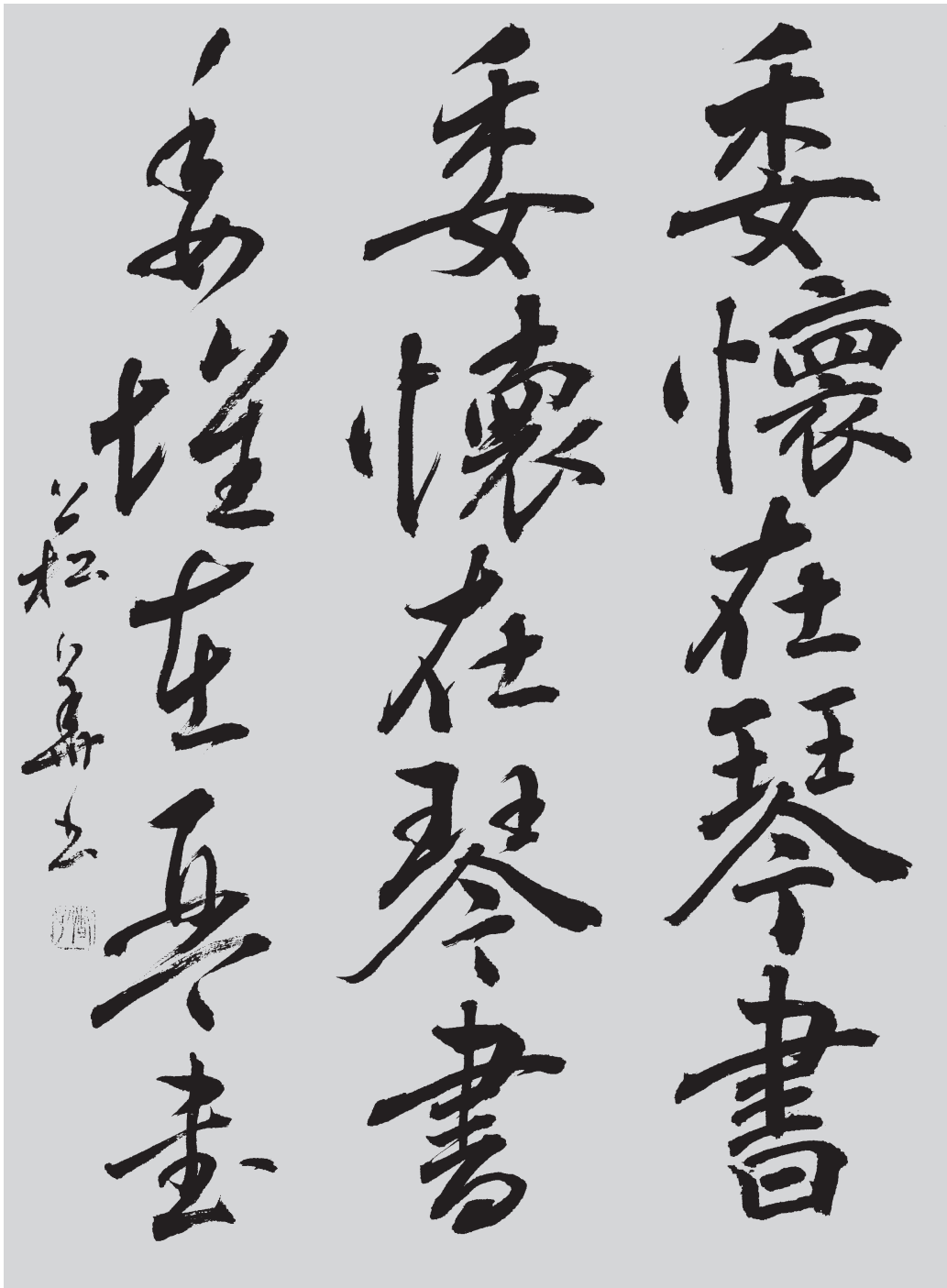
全文一二九五字。代宗の広徳二年（七六四）に顔真卿が右僕射郭英又（かくえいまた）に差し出そうとした書翰の草稿で五十六歳時の作。現行のものはみな刻帖で明拓であり精拓で臨書には格好のものとされる。その底本は明治の晩期に三井氏聴冰閣に帰した。その書から悠揚迫らぬ雰囲気、そして枯渴の妙、特徴とする懐の広さ（向勢の強調）、連綿の工夫、粘り強い線、楷書と共通する線、等字んでゆきたいと思えます。

中国の書道史上もっとも優れた書家二人を挙げよと問われたら誰もが王羲之（三百年代）と顔真卿（七百年代）であると答えると聞きます。そこで、私はここに顔真卿を取り上げ、米芾が彼の第一と賞賛する「争坐位文稿」に取り組み、味わい深めることにしました。

◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

小暮 菘 華 先 生 書

委懷在琴書（陶淵明）
懷を委す琴書に在り。



訳：自分の心を打ちまかすのは琴と書物で、或は弾じ或は読んで楽しむ。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は400円。

五 絶 参 考

路川千擘先生書

萬樹江邊杏。新開一夜風。滿園深淺色。照在綠波中（王維）
萬樹江邊の杏。新に一夜の風に開く。満園深淺の色。照らして緑波の中に在り。

萬樹江邊杏
新開一夜風
滿園深淺色
照在綠波中

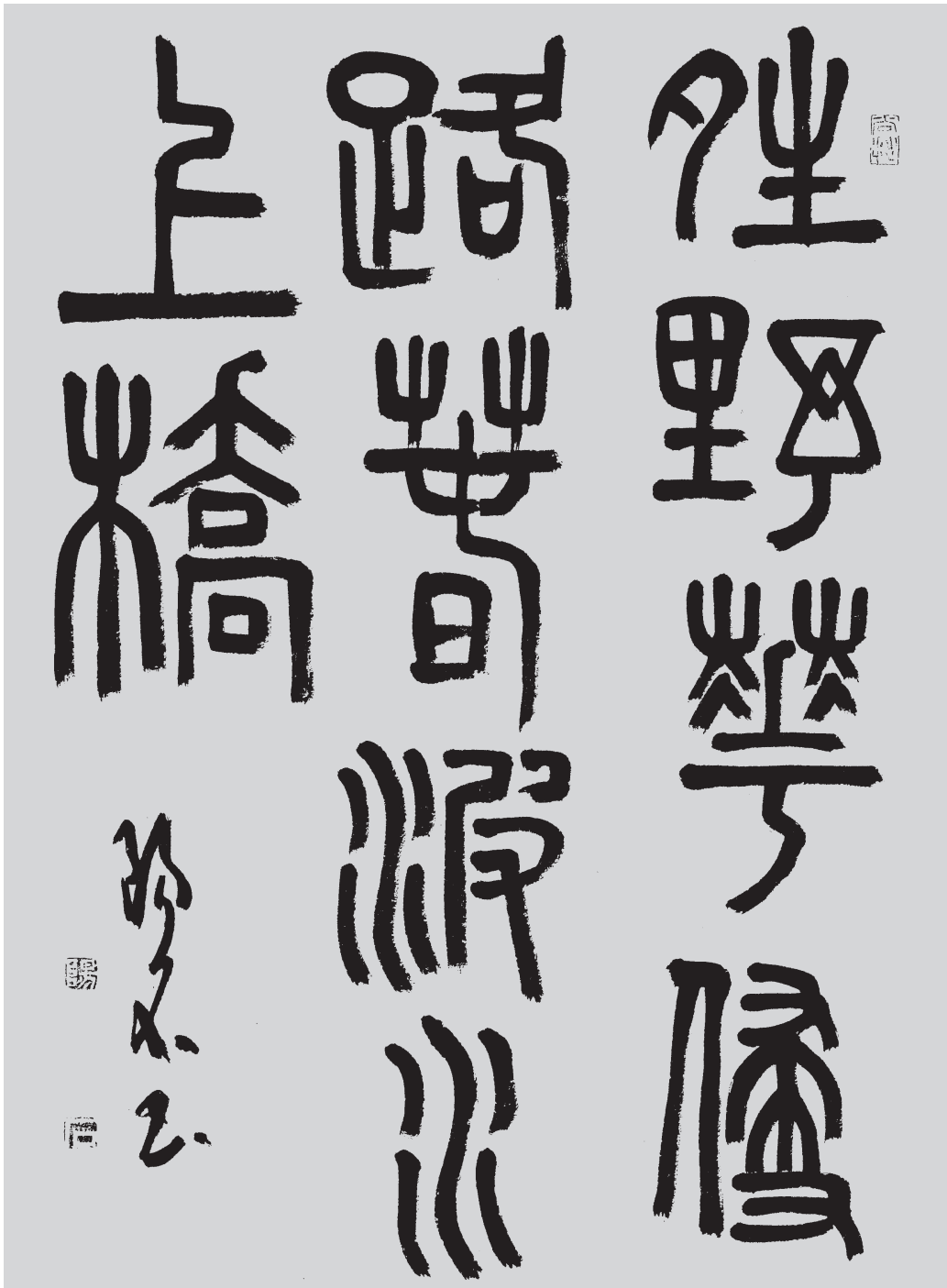
王維詩
千擘書

訳…水郷江邊の春景色。川の岸辺の杏の樹々の花を咲かせた夜の風。色は紅ありうす紅ありで青葉若葉に映える花。

◆随意部参考として出品してください。

難波陽石先生書

晴野花侵路 春波水上橋（姚合）
晴野花路を侵し、春波水橋に上る。

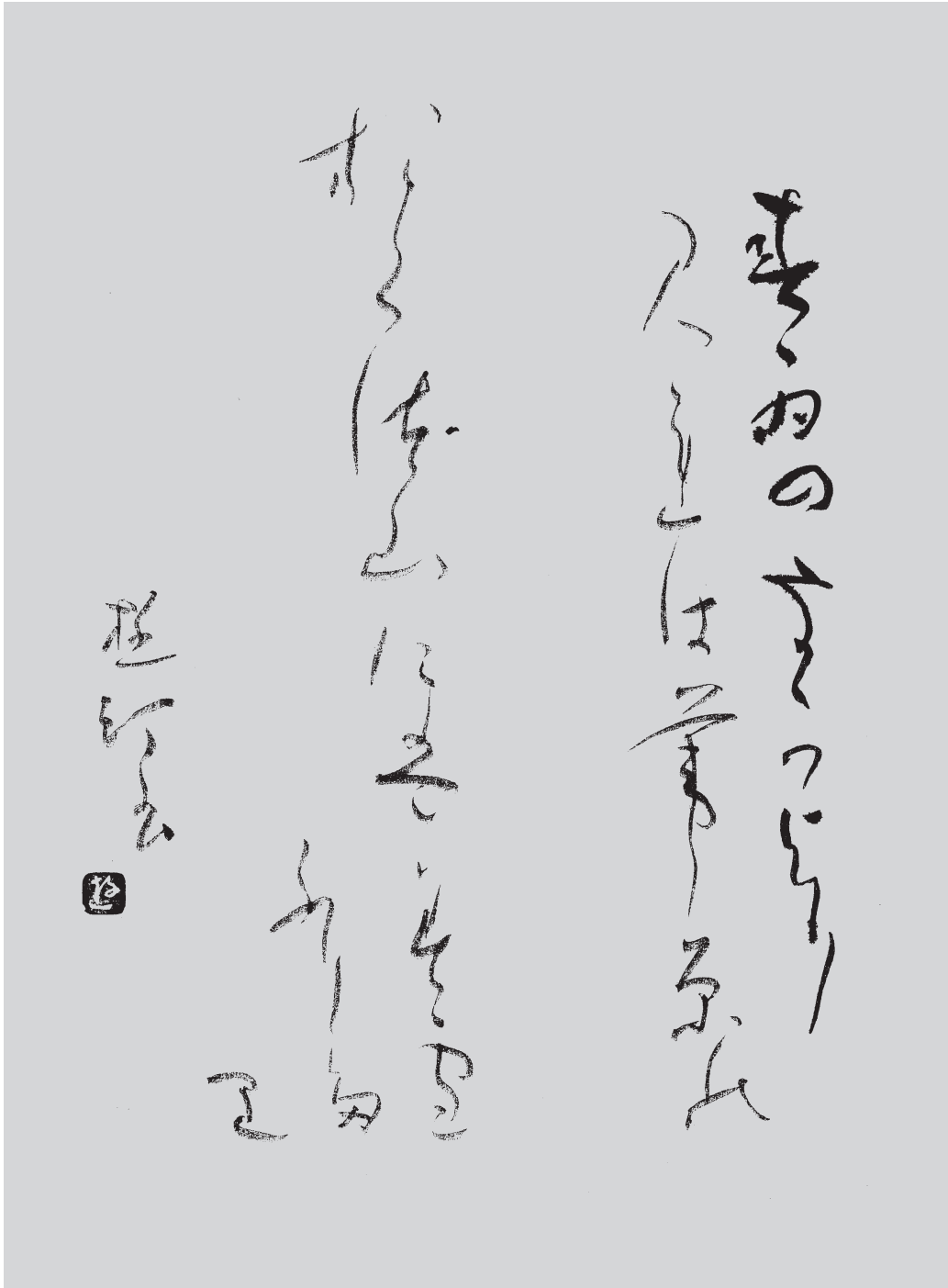


訳：日よりよき野べの花は路の上にまで咲きかかり、春の波はみちみちて水は橋に上らんばかりである。

添削又は手本希望者は本会規定により、難波陽石先生（〒663-8006 西宮市段上町5-5-18）に直接お申し込みください。

立川遊汀先生書

春雨のなかより見れば葦原の奥つ山にはみ雪降りたり（島木赤彦）
春雨の奈可与り見連は葦原能於く徒山に盤美雪ふり多里



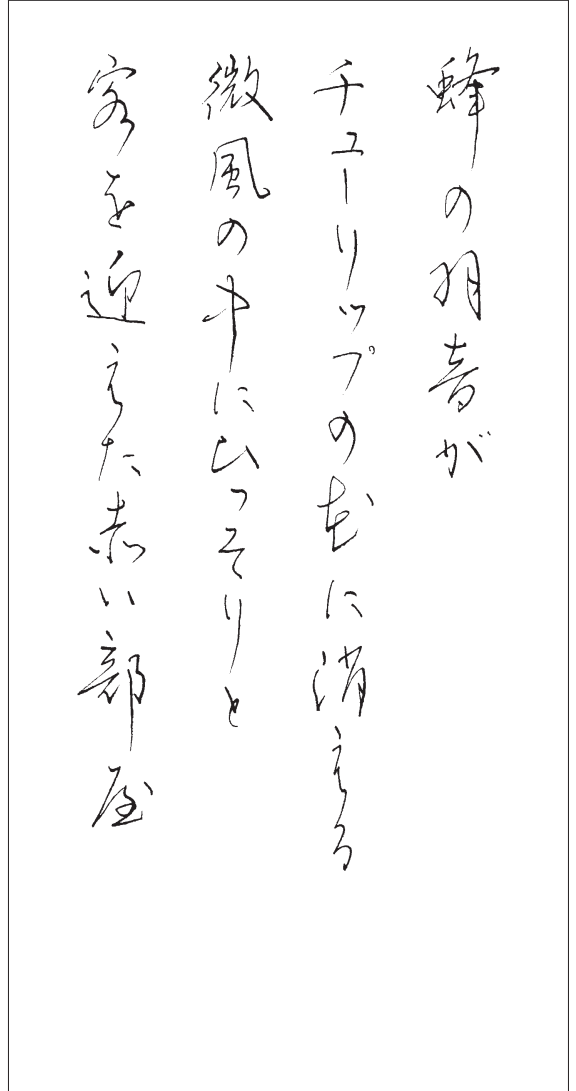
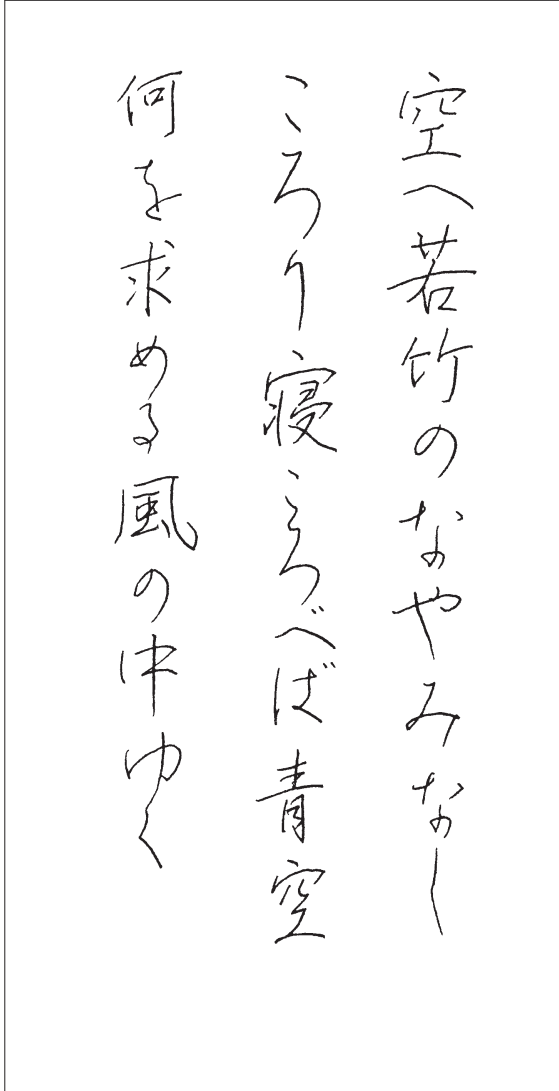
添削又は手本希望者は本会規定により、立川遊汀先生（〒299-0127 市原市桜台3-10-9）に直接お申し込みください。

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題2 (初段格以下)

課題1 (初段以上)



課題1 (初段以上)

蜂の羽音が

チューリップの花に消える

微風の中にひっそりと

客を迎えた赤い部屋

〔チューリップ〕三好達治

◆注意

(1) 自分の段級に合った課題を選択。

(2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。

(3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新

(4) 会員は無料・会員外は四〇〇円

(5) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと)。

課題1 六〇〇円

課題2 三〇〇円

課題1 石原春香先生 三三七〇一〇八七

高崎市楽間町二四ノ二一

課題2 松浦江波先生 三三三〇一〇四三

相模原市緑区橋本六ノ四二ノ一九

課題2 (初段格以下)

空へ若竹のなやみなし

ころり寝ころべば青空

何を求める風の中ゆく

〔草木塔〕より三句 山頭火